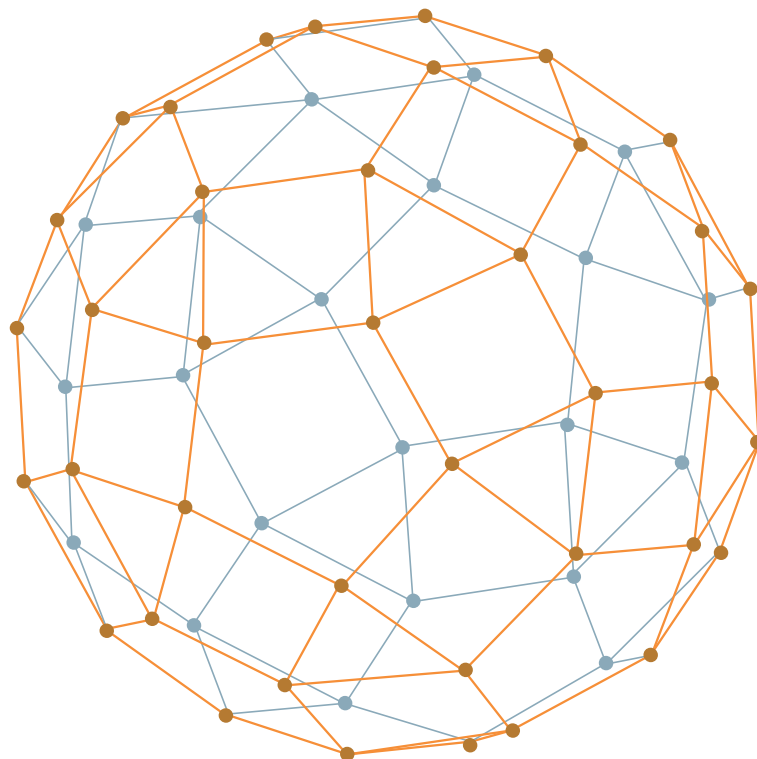


点
は
線
と
な
り
面
へ

T
S
E
N
M
E
N



入
場
無
料



サデコMONOがたり
公益社団法人埼玉デザイン協議会

作品展



● 開催期間 12/1_金~5_火 10:00~17:00
土・日 19:00 まで
最終日 15:00 まで

● 会場 RaiBoC Hall 展示室1・2

市民会館おおみや 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町 2-118 (大宮門街 4 階)

主催：さいたま市障害者総合支援センター、公益社団法人埼玉デザイン協議会

後援：埼玉県家具工業組合、春日部桐箱工業協同組合、株式会社デサン

協賛：株式会社カラーマーク

株式会社デサンのアンバサダーキャラクター



来場者プレゼント

チラシご持参の方
先着40名限定!



さいたま新都心で毎年開催される「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」。
その PR 用バナーを再利用して作られ、「サデコMONOがたり」でも大人気商品となった
反射材キーホルダーを、このチラシをご持参いただいた先着 40 名様にプレゼントします!

さいたま市障害者総合支援センター

点は線 となり面へ

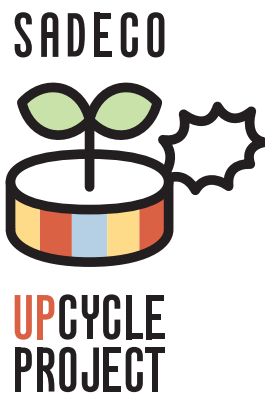
「サデコMONOがたり」は、障害のある人たちが真心こめて生産する商品を販売するオンラインストアです。障害のある人自身の感性・アイデア・技術を生かした商品を、運営管理者である公益社団法人埼玉デザイン協議会（通称 SADECO）に所属するデザイナーやクリエイターがサポートし、これまでの福祉のイメージをくつがえす商品を自信を持ってお届けします。『点→線→面ーサデコ MONO がたり作品展ー』では、市民の皆さんに愛されてきた「サデコ MONO がたり」の商品を一堂に集めて展示し、モノづくりの背景にある心温まる物語をお届けします。

SADECO は、独自の視点で環境問題を考える「アップサイクルプロジェクト」にも挑戦しています。さいたま新都心を舞台に熱戦が繰り広げられる自転車レース「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」の懸垂幕等を再利用したグッズ開発もその一環。「サデコMONOがたり」で大人気商品となった関連グッズの誕生物語も、この作品展でご紹介します。

春日部の桐細工や岩槻の人形づくりなど、SADECO の活動は地域活性化事業にも幅広く関わっています。多彩なフィールドで活動する SADECO メンバーの作品展も同時開催します。

サデコMONOがたり

さいたま市内の障害者施設が自信を持って提供するハートフルグッズ（商品の一部）



公益社団法人埼玉デザイン協議会（通称 SADECO）が 2014 年より取り組んでいるプロジェクト。企業活動で出た副産物（端材や廃棄材）を提供して頂き、それを活用した商品開発やワークショップ等を開催。ものづくりの楽しさを伝え広めると共に、優れた生産技術をもつ企業とデザイナー・アーティスト、地域住民を繋げています。

さいたま市で開催されるスポーツイベント「2022 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」の PR のために掲示されていた懸垂幕等を、新たなグッズとして生まれ変わらせました。



作品の一例

公益社団法人埼玉デザイン協議会

今年 36 周年を迎える埼玉デザイン協議会は、デザインをより広義に捉えるソーシャルデザインの実現を目指しています。全国のデザイン団体と比較しても珍しく、参加者をデザイナーに限らないことで、多種多様な分野のエキスパートがそろっています。地域や民間企業を対象としたデザイン活動だけではなく、障害者施設や農業経営者のデザイン支援、未来を担う子どもたちを対象にしたデザイン教育など、多岐にわたる活動を行っています。

問い合わせ先

さいたま市障害者総合支援センター TEL:048-859-7255 FAX:048-852-3272
E-mail:syogaisha-sogo-sien@city.saitama.lg.jp

公益社団法人埼玉デザイン協議会 TEL: 048-261-2430 (月曜日・水曜日 9:00 ~ 12:00)
不在時連絡先: 048-776-9884 (竹田良雄) FAX: 048-261-2438 E-mail:take@bamboo-d.co.jp